

前奏 黙想	祈 禱
讃美歌 58 かみよ、みまえに	讃美歌 353 いずみとあふるる
祈 禱	献 金
信仰告白 使徒信条 566	讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書 エレミヤ書 31:3~6	黙 禱
ヨハネによる福音書 4:13~14	主の祈り 564
讃美歌 291 主にまかせよ、なが身を	頌 栄 542 世をこぞりて
説 教 『泉から湧きいでるもの』	祝 禱 後 奏

「遠くから、主はわたしに現われた。わたしは、とこしえの愛をもってあなたを愛し、変わることなく慈しみを注ぐ(エレミヤ 31:3)」。一人称が置き換わっているので誤読しやすい。前者の「わたし」はイスラエル(預言者)だが、後者の「わたし」は主なる神で、「あなた」はイスラエルのこと。つまり「主は永遠の愛をもって民(イスラエル)を愛し、何があろうとも慈しみを注ぎ続ける(31:3)」といった意味。

「おとめイスラエル(31:4)」が「再び、サマリアの山々にぶどうの木を植え(31:5)」、「見張りの者がエフライムの山に立つ(31:6)」くだけは興味深い。この時代、エルサレムの北方サマリア=エフライムは北王国内で、国粹的な南王国から見れば異教徒と混じり合っている忌むべき領域。だが「立て、我らはシオン(エルサレム)へ上ろう。我らの神、主のもとへ上ろう(31:6)」と預言されている。そして「彼らはまっすぐな道を行き、つまづくことはない。わたしはイスラエルの父となり、エフライムはわたしの長子となる(31:9)」とまで言う。分断による変遷がどうあろうとも、主は共に唯一なる神なのだ。

正統派律法学者によれば、サマリア=エフライムの民はまるで「救われない」。しかし「遠くから、主はサマリアに現われ、とこしえの愛をもってサマリアを愛する(31:3)」。神の愛は、神の律法を凌ぐ。また愛は、後代の教会の義よりも遥かに広く、罪人も異教徒も「救い(31:6)」の内に迎え入れる。

福音書にイエスとサマリアの女が邂逅する場面がある(ヨハネ 4:7)。「水を飲ませてほしい」という程度の要望にも、「ユダヤ人のあなたがサマリアの女のわたしに～頼むのですか(4:9)」と拒絶的。サマリア人であつ「女」はダブル被差別だが、重ねて彼女は村の仲間からも差別されている。つまり朝方の井戸端会議には加われず、暑い陽ざかりに一人で重労働の水汲みにやって来た(4:6)。うしろ指さされる「ふしだらな女」だから(4:18)。二重三重に差別されて来た女の心は硬直していて、ユダヤ人の男から「水飲ませてくださいな」と気楽に声かけられても、愛想よく「はい、どうぞ」とはなるまい。

「父ヤコブがこの井戸を与え～子供や家畜もこの井戸から水を飲んだ(4:12)」。遠い昔、同じ父祖で部族間の諍いもなく、女も子供もなく、家畜までが神に生かされていたと女は語った。だが幾重もの差別で疑心暗鬼になっている。するとイエスは言う。「この水を飲む者はだれでもまた渴く。しかし、わたしが与える水も飲む者は決して渴かない(3:13~14)」。すると身が細る女の辛さが滲み出る(4:15)。

「わたしが与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水がわき出る(4:14)」。この言葉、女は比喩だと分らず、「永遠の命に至る」救いの「水」にも関心がない。それより村の女たちの悪意あるヒソヒソ話から逃れたい(4:15)。人間の内から泉のように溢れ出る「永遠の命に至る水」とは何か。

「遠くから、主はわたしに現われた。わたしは、とこしえの愛をもってあなたを愛し、変わることなく慈しみを注ぐ(エレミヤ 31:3)」。永遠の命に至る水とは、どんなに遠く離れていても、たっぷり注がれる「とこしえの愛」。口うるさい教会は、異教徒や不道德者を「救われない」とし、教会の教えに従えば「救われる」と、律法学者のごとくに裁く。だがキリストの愛は遥かに大きい。私たちに湧き出る命の泉とは(ヨハネ 4:14)、どんなに遠くからでも私を見つけ、永遠の愛を注がれるキリストの水なのだ。

預言者による神の愛は いかにか背いても御心がある所に エルサレムに集められる救い(エレミヤ 31:6)
キリストの愛は神のものだが 場に限定されることはない ここで私の内に愛が生ずる(ヨハネ 4:14)

本日、礼拝の後は掃除をします(20分)。参加できる方はお願いします。本日 2:30~4:30 集会所で波田教会と Zoom 集会(LGBTQ 関連)。牧師の動き:8/30 甲府で山梨県宗教者懇話会(僧侶や神官と)。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HP は「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。